



# 広報のほりべつ

『毎月十日は防火の日』

忘れまい 火の有難さ 火の恐ろしさ



## 12月号 No.86

写真は11月21日の大雪につつまれた幌別市街

### 冬の道路を 広く使おう

例年、積雪期間中は雪のため道路の状態がたいへん悪くなり、これらが原因となって交通事故も多発しております。

そこで、雪解けまでの間、冬の道路を広くするため、町民ひとりひとりが次のことを守り、また自主的に実施し道路を広く使い、狭いために交通事故が起きることをないようにしたいものです。

#### 除雪

- (1) 各家庭の家のまわりを除雪する。
  - (2) 車道ばかりでなく、歩道の除雪もする。
  - (3) 除雪した雪を道路に投げ返さない。
  - (4) 消火活動が充分できるよう、消火栓や、家のまわりを除雪する。
- 除雪作業をしやすくする。
- (1) 道路に車両を放置しない。
  - (2) 道路に商品、雑品等を放置しない。
  - (3) 道路での荷さばきや作業をしない。
  - (4) 道路でスキー、スケート、ソリ遊びなどをしない。

# 国民年金だより

## 国民年金とは

働く力がある若いうちから、毎月きまってお金を積み立て、収入のなくなる老後や万一のとくに備えるため、国が行なっている年金制度です。このほか、加入中の主人が奥さんや子供をのこして、病気とか交通事故などで、死亡または、ケガをしたときにも年金が支払われます。

男女を問わず、二十才以上の方で、厚生年金や共済組合などの年金制度に加入していない人は、必ず国民年金に加入しなければなりません。

## 国民年金に今すぐ加入しましょう。

昭和四年四月二日から同五年四月一日までに出生の人は、今年度中に加入しておかないと、将来老令年金を受けるために、必要である最小年限の二十五年を満たすことが出来ないこととなりますので、お忘れなく加入届の手續をしてください。

## 住所変更の手續について

**転入者**  
他市町村から登別町に転入された被保険者で、また住所変更してない方は、早急に手續をしてください。また、町内移動(幌別から来馬)した方もお忘れなく。

**転出者**  
登別町から他市町村に転出される被保険者の方は、転出される前に、あらかじめご連絡ください。

なお、転入、転出の手續は、役場年金係、又は各支所に

## 保険料の納入について

保険料の納入は、一ヶ年前納をおすすめします。前納されすと割引の特典があります。前納できない方は、毎月役場年金係、又は各支所に手帳を添えて納入ください。

## 国民年金から他の年金に

### 移行された方へ

国民年金から厚生年金、共済組合等に移行された方は、喪失手續をし、また厚生年金等から脱退された方は、国民年金に加入しなければなりませんので、申し出てください。

## 料金改訂による差額保険

### 料の納入について

明年一月から保険料が、月額百円高くなります。

## 町税納入の強調月間中

十二月三十日まで

今年もいよいよ師走となり、何かとあわただしい時期を迎えます。

平素、町税の納入につきましては、町民の皆様の大ご協力をいただき、ご厚礼申し上げます。

町では、十二月を一町税納入強調月間とし、町民の皆様のご協力をお願いすることになりました。

ただいま、税務課の総力をあげ徴収態勢を強化し、年末の町税納

# 町史編さんシリーズ 記念碑巡り

## 明治天皇行幸記念碑の巻

町内には三つの御巡幸記念碑がある。東から富浦の旧道の坂を上りきったところ、幌別は刈田神社すでに、今年度分を現行の保険料で納入されている被保険者については、明年一月から三月までの差額(不足分)を納入していただきます。

納入方法は、役場より差額保険料の手帳を送付します。

又、全期間前納されている被保険者には、社会保険事務所より差額手帳が送付されますので、明年三月までに役場又は、支所に手帳を添えて納めてください。

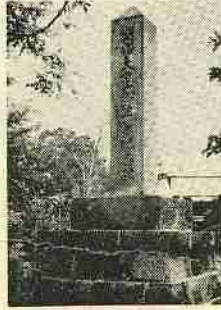
なお、差額保険料の納入が困難などの事情のある場合は、免除する方法もありますので、ご相談ください。

の境内、それに鶯別の国道沿い公民館の筋向いの三カ所である。これらはみな、明治十四年に明治天皇が北海道を御巡幸になられたのを記念して建てられたものである。

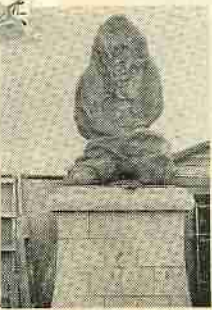
明治天皇は、北海道の開拓に特



富浦市街の上、高台にある記念碑



刈田神社境内にある記念碑



国道筋にある記念碑

にご関心と御期待を寄せられ、開拓使が置かれてから十周年を迎えた明治十四年、開拓使黒田長官の請願をお取り上げになって、東北各地をご巡察になり、八月三十日御召艦で小樽に御入港になった。そして札幌・千歳・苫小牧・白老を経て九月四日登別に入られた。この日は秋晴れのよい天気であった。天皇は御年三十歳で、七月に東京を御出発になってから非常に長い御旅行にも拘らず少しもお疲れの様子はありません。

御馬車が富浦(旧蘭法華寺の坂道にさしかかると、あまりにも急なため御馬車はなかなか進まない。(当時は、まだ蘭法華隨道ができていなかった。)そこで、地元の人土人など数十人が後押しをしてきつと坂を上りきった。そして官設御小憩所で、約三十分お休みになったが、富浦の坂のつけ根あたりから、こんこんと湧き出ている清水で、乾いた喉を潤された。(後年この清水を御膳水と呼ぶようになった)

幌別では会所跡の官設の御昼行在に正午すぎお着きになり、お昼食をお召しになった。その頃の幌別はと言えば、片倉景範とその旧臣が移住開拓してから十二年になり、旧土人も合せて人家が百戸位もあり、かなり開けていた。

幌別をお発ちになった陛下は、鶯別の官設御小憩所でお休みになった後、午後五時四十分室蘭にお着きになった。そして翌五日、早朝に山崎艦にお乗りになつて室蘭をお出になったのである。

◆お父さん納税すんだの

僕の家

表彰

毎日の労をねぎらい  
優良勤労者を表彰

町社会福祉協議会では、十一月二十三日（勤労感謝の日）中央公民館において、働く青少年の表彰を行いました。

これは、働くという勤労意欲の向上と、働くことに誇りを持たせるために、町内の新聞、牛乳などの優良配達青少年を対象に表彰状や記念品を贈りその労をねぎらったものです。今回表彰されたのは次の方々です。

梶別地区

石丸和子

石高清道

石黒保則

渡部修士

芳村 稔 吉田秀雄

来馬地区

興寺行雄 木下則夫 鎌田晃雄

登別地区

荒井久夫 荒井幸博 林 政明

小野真佐之

温泉地区

長岡勇二

柏田陸夫

長岡勇二

加我 稔

佐藤安行 福田幾雄

戦没叙勲者に  
勲章と勲記

第三回戦没者叙勲の伝達式が、去る十一月五日戦没者の遺族に対して、岩倉町長より丁重に行われました。

このたびの叙勲者はつぎのかたがたです。

▽勲七等旭日章  
山崎 富義（米馬六七）

山中 求（米馬六七）  
片寄栄五郎（カルルス）  
▽勲八等旭日章  
志賀 幸正（梶別町二二二）  
鷲塚 広（米馬六七）  
小山 光夫（富浦八七）  
伊東 直次（米馬六七）

功労者七名に表彰

農地改革二十周年、農業委員会制度十五周年を記念して、このたび、功労のあつた次の方々、それぞれ表彰されました。

この方々は、多年農業委員として、町の農業発展につくした功績を讃え表彰されたものです。

農業委員会担振連台会長表彰  
同部孝一郎、井元寅一

農業委員会担振連台会長表彰と道  
農業会議会長表彰

竹村権四郎、苔米地義三

山下菊次郎、南 輝雄

高橋貞五郎

歳末たすけあい  
運動にご協力を

ことしもいよいよ師走になり外は寒風が吹きさらしております。この寒空に、病気や働き手がないなど生活にお困りの家庭が町内には数多くあります。

このお気の毒な方々を少しでもおたすけするため、歳末たすけあい募金にご協力ください。

さきにご家庭へ「募金袋」をおくばりしましたので、みなさんの善意を「募金袋」におよせください。

お知らせ

国民健康保険の  
作文を募集

町では、国民健康保険の作文を募集しております。

◇応募資格

登別町に居住し、町内小・中高在学者

◇題名

国民健康保険について（国民健康保険が、私達の日常生活にどのように役立つ、私達は、これからどのように育て、伸ばして、つたらよいかについて心から感じたもの）

◇締切りと送り先

四十二年一月末日まで役場衛生課に提出してください。

◇応募上の注意

四百字原稿用紙五枚以内、応募作品には住所、氏名、学年（学校名）年齢を記入してください。

◇入選発表と入賞区分

四十二年二月末日までに、町広報、その他で発表し、本人にも通知します。

入賞区分は、第一部（小学生）

第二部（中学生）、第三部（高校生）の各部門も入選一点と佳作三点で賞状と賞品、その他参加賞が贈られます。

なお、詳しくは役場衛生課にお問い合わせください。

年末の郵便に  
ご協力を

年賀郵便の取扱期間が目前にせまりました。当局では毎年増加の一途を辿る年賀郵便物を間違いなく皆さんにお届けするために万全を期しておりますが、なお一層無事にご大任を果したいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

小包

年末年始の小包はおそくなるほど混雑します。早目にお出しください。

年賀状

年賀はがきは、遅くなればなるほど元配達がむずかしくなります。十二月十五日から二十一日ごろまでにお出し願います。

差し出すときは「年賀」と表示し、簡単な区分（住所別に）するようお願いいたします。

あて名は、とかく省略しがちです。正確にくわしく書いてください。

封書や変形の年賀状は、年賀特別扱（十二月出したものを、元旦にまとめて配達する制度）にならないので早目に差し出してください。

年末年始の衛生業務

年末年始の衛生業務の取扱いは次のように行ないます。

◎汲取業務

十二月二十三日までの申込み分は、年内に汲取りします。それ以後の申込み分は、出来る限り十二月三十日までに汲取りしますが、残りは、受付順に年始まわしとなりますので、早めにお申込みください。なお、年始の仕事始めは一月五日から行ないます。

◎ごみ収集（日程変更）

年末年始のごみ収集についてはは事務量等から非常に混雑を予想されますので、全地域のごみ容器は、朝八時三十分まで所定の場所に出してください。

又、収集日程については、回覧等でお知らせしてありますが、一部次の表の通り変更になりましたので、ご了承ください。

なお、欄中に記載されていない地域は従前通りですので、日程表をごらんになって間違いのないよううにしてください。

曜日	日	日	日	日	日	日
火	1	12	3	3	1	12
土	1	12	3	3	1	12
日	1	12	3	3	1	12
日	1	12	3	3	1	12
日	1	12	3	3	1	12
日	1	12	3	3	1	12

富浦く千歳間  
六十キロに

スピードアップ（七十キロ）区間、富浦から千歳間が、十一月十日より法定速度（六十キロ）になりましたので、運転手の方は違反のないよう充分ご注意ください。

# 酒酔い運転はやめましょう

## やめましょう

年末・年始はとかく酒を飲む機会が多い時期ですが、酒を飲んで車を運転するのは非常に危険なことです。

運転者自身が酒をのまないことはもちろんですが、周囲の人も車を運転する人には酒をすすめないようにしましょう。

酒を飲んで車を運転していると、はじめはあまり酔っていなくても、運転しているうちに酔いがまわってきて物を正確にみる事ができなくなり、また、動作が鈍くなつて安全な運転ができず、事故を起こすこととなります。

故は、必ずといってよいくらい大きな事故を起こして、自分はおろか、場合によっては他人を道づれにする「自殺行為」となります。

### 安全運転は みんなの力で

酒を飲む場所へは、絶対に車を運転して行かないようにしましょう。

どうしても、行かなければならないときは、車を置いてタクシーかバスを利用しましょう。車を運転している人には絶対に酒を飲ませないようにしましょう。また、他人が飲ませようとして



運転に酒はのまない 飲ませない

いるときには、注意をして事故防止を呼びかけてあげましょう。道路交通法では、たとえ酔っていないくても、運転者のからだの中に、一定量以上のアルコール分が残っていれば車の運転が禁止されています。

また、酒気をおびて事故を起こしますと、普通の場合の二倍も重い罰を受けることになっていきます。

## 短期運転資金は

### 年末金融を利用下さい

例年実施しております中小企業者に対する「年末金融」を今年も受付けをはじめております。

この年末金融は、遊興娯楽事業者を除く中小企業者及び、中小企業協同組合法に基づく組合員であらば、融資が受けられますので、期間内に取扱い金融機関に申し込んで下さい。

#### 申込期間

十一月一日～十二月二十五日

#### 取扱い金融機関

拓殖銀行・北海道銀行・北洋相互銀行・北海道相互銀行・商工

#### 信用組合・信用金庫

#### 融資条件

- ①資金使途 運転資金
- ②融資金額 一企業者二百万円以内(特別の場合三百万円以内)
- ③融資期間 六ヶ月以内
- ④融資利率 各金融機関の利率
- ⑤担保 原則として担保を必要とするが、五十万円以下の場合は「無担保、無保証人制度」により取扱うことができます。

#### 信用保証

①すべて北海道信用保証協会の保証とする。

②無担保無保証人制度の取扱いに ついても追認保証の扱いができません。

#### 保証料

- 無担保無保証人保証 日歩二厘
- 保証額 三十万円以下 日歩二厘一毛
- 五十万円以下 日歩三厘一毛
- 五十万円以上 日歩四厘

#### その他

詳しくは役場観光課商工係へお問合せ下さい。

## 美 挙

登別町愛情銀行へ

- 小玉一夫(字幌別) 四、〇〇〇円
- 山崎忠彦(〃) 三、〇〇〇円
- 森正雄(字来馬) 五、〇〇〇円
- コーヒーパールイ 一、二九三円
- 笠井利夫(字川上) ミシン一台
- 住吉フジ(字中登別) 雑布一六〇枚
- 登別高校陸上競技部 切手一、〇〇〇枚
- 鷲別老人クラブ 雑巾一四〇枚
- (小中学校へ)
- 三好篤美(字来馬) 切手二〇〇枚
- 匿名(字千歳) 〃三、〇〇〇枚
- (字登別) 学生服二着
- 靦別服装学院 座布団外一五点
- 衣料品抛出者
- 靦別婦人会 新和会婦人部
- 新登津町内会 西来馬町内会
- 新町々内会 来福町内会
- 曙町内会 西方ハッ(字富岸)

### 年末年始の街頭補導

町では、十二月二十日より一月十五日まで各機関、学校、PTA、町補導員の協力で、街頭補導を行うことになりました。

これは年末年始が近づくとともに、各学校が休暇となるので、児童生徒の生活指導をかねて非行防止を行うのです。

主として昼、夜間の街頭、盛り場、空地、遊技場での不健全娯楽夜遊び等、好しくない行為を対象に、非行の早期発見と未然防止の業務に努めるものです。

### 年末・年始の事務取り扱い

役場の年末・年始の事務は、十二月二十八日午後から一月三日までと、一月四日午前十一時より休みとなります。

なお、税務課徴収事務は三十日まで、出納窓口(各税金、水道料等納入)は三十日午前中まで行ないます。

### 町の人口

(十月末現在)

男	二〇、六七一人
女	二〇、二三九人
計	四〇、九一〇人
世帯数	一〇、五二二世帯